



図書館だより

2012年2月 (No. 59)

【開館時間】 10:00~19:00

【休館日】 毎月第3月曜日 (2月は20日です)

千歳市立図書館

指定管理者山三ふじや

〒066-0046 千歳市真町2196番地の1

TEL 0123-26-2131

E-mail toshokan@e-fujiya.com

ホームページ <http://library.city.chitose.hokkaido.jp/>



今月のおしらせ

第5回 図書館まつり

2012年2月5日 (日)

第24回

合同おはなし会 図書館2階 AV室 11:00~12:00

図書館で活動しているおはなし会グループが大集合!

大きな絵本やエプロン・パネルシアター、人形劇など楽しい演目がいっぱいです。ぜひお越しください。

直接会場に来てね!



しゃぼんだま 「おぼけおぼけのかぞえうた」 (パネルシアター)
 くりねずみ 「三びきのこぶた」 (人形劇)
 ぐるんぱ 「グリーンマントのピーマンマン」 (エプロンシアター)
 ピノキオ 「もぐらバス」 (大型絵本)



おはなし会 1階おはなしコーナー

- | | |
|---------------|-------------------|
| 11日(土) 11:00~ | くりねずみ (図書館職員) |
| 12日(日) 11:30~ | 日曜おはなし会 しゃぼんだま |
| 15日(水) 11:00~ | おはなしの会 ピノキオ |
| 18日(土) 14:00~ | おはなしぐるんぱ |
| 19日(日) 11:00~ | E絵本くらぶ (えいごおはなし会) |
| 25日(土) 11:00~ | くりねずみ (図書館職員) |
| 26日(日) 11:30~ | 日曜おはなし会 しゃぼんだま |

上映会 2階AV室

- 2月12日(日)
14:00~15:30
「赤毛のアン (完結版)」
- 2月19日(日)
14:00~16:20
「ベスト・キッド」
[2010年作品・アメリカ]
監督: ハラルド・ズワルト
出演: ジャッキー・チェン
タラジ・P・ヘンソン ほか



～新着図書・視聴覚資料～

1月に入った本の一部です



<597 マ>

住宅・インテリアの解剖図鑑

松下 希和 著/エクスナレッジ
居心地の良い住まいをつくるために、インテリアの要素をどのように設計し、どう組み合わせたらよいかを紹介。名作インテリアを題材に、その長所を現在の生活に当てはめて解説する。



<649.5 ド>

ドキュメント 口蹄疫

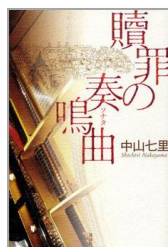
宮崎日日新聞社 著/農山漁村文化協会
2010年に宮崎でおきた牛や豚の口蹄疫感染。発生から感染爆発、終息を経て復興の途につくまで、農家に寄り添いながら現場で取材を続けてきた宮崎日日新聞社の記者たちによるありのままの記録。



<913 ウ>

北の五稜星

植松 三十里 著/角川書店
大政奉還後、薩長の新政府に徳川家や諸藩は恭順の意を示すが、榎本武揚は新天地を求め、旧幕府海軍を率いて若き浦賀衆たちとともに蝦夷地へと向かう…。箱館戦争と、残された者の人生を描いた歴史長編。



<913 ナ>

贖罪の奏鳴曲

中山 七里 著/講談社
弁護士・御子柴礼司は、ある晩、記者の死体を遺棄した。死体を調べた警察は、御子柴に辿りつき事情を聴く。だが、彼には死亡推定時刻は法廷にいたという「鉄壁のアリバイ」があった…。正義と贖罪の意味を問うミステリー。



<K50 ヤ>

ヤモリの指から不思議なテープ

松田 素子・江口 絵理 文/アリス館
ヤモリはなぜ、壁や天井を歩き回れるのか？なぜだろうと考え、諦めずに問い続けた結果、粘着テープやロボットが開発された。自然に学ぶ技術、ネイチャーテクノロジーを紹介する。



<E タ>

たんじょうびおめでとう!

マーガレット・ワイズ・ブラウン さく
レナード・ワイズガード え/長崎出版
いもむし、りす、ぶた、うさぎ…。深い森のなかで生まれ育ち、1歳になった動物たちが、お誕生日プレゼントをもらいました。それぞれ一番ほしかったものをもらったのですが、それはいったいなんでしょう？

視聴覚資料は今年入ったものの一部で、館内でご覧いただけます



<V11-3448>

雷桜

監督 廣木 隆一
出演 岡田 将生 ほか
将軍家に生まれた清水齊道は、家臣の故郷には天狗がいるという話に興味を持ち、瀬田村へ向かう。その道中、齊道は、瀬田山で生まれ育ち、父と自由奔放に暮らしていた娘・雷に出会う。



<V12-3771>

ガリバー旅行記

監督 ロブ・レターマン
出演 ジャック・ブラック ほか
失敗を恐れるあまり何事も挑戦する前に諦めてしまう、さえない男のガリバー。ある日ハッターリで手にした仕事でバミュダ・トライアングルへ取材に出かけるが、海で遭難し、小人の国へと迷い込んでしまう。

司書のオススメ本を紹介します

私のオズズ!



<913 オ>

『桑潟幸一准教授のスタイリッシュな生活』

奥泉 光 著 文藝春秋

一応推理モノですが、この話で重要な点はそこではありません。薄給でありながら、向上心もなく、読むのはマンガとスポーツ新聞という大学准教授とは思えない体たらく。人間的にも器が小さい。そんなクワコーの日常が奥泉光の洗練された美しい文章で描かれます。表紙ではカッコイイ感じに描かれてますが、これは全くの虚構です。(クリップ)